

教育実習を通じて、多くの貴重な経験と学びを得ました。特に板書の重要性を再認識し、文字の大きさや色使用について具体的なアドバイスを受けました。

また、パワーポイントのフォントサイズやデザインの工夫、スライド操作のための道具使用に関する指導も受けました。プリント作成では、授業内容を明確にし、スライドとの関連付けが重要であることを学びました。授業進行においては、具体的な指示の重要性を実感しました。「二原子はどうなる？」ではなく、「二原子間でどういう結合をつくる？」というように具体的に指示することで、生徒の理解が深まりました。

模擬授業では、他の学生や先生方と積極的にフィードバックを行うことの重要性も学びました。また、生徒の反応を随時確認し、授業の理解度を把握することが必要です。机間指導では、生徒が理解できている点とできていない点を把握し、授業を円滑に進めるための重要なポイントを学びました。授業が平坦にならないように緩急をつけ、重要な箇所を強調し、目的意識を持たせることも重要です。授業の前後や復習時に、生徒の背景理解を確認し、必要に応じてフィードバックを行うことが大切です。

最後に、個人、ペア、グループの活動時間を明確に区切り、時間を計ることで生徒の時間間隔を養うことも学びました。これらの学びを今後の教育実践に活かし、より良い授業を提供できるよう努めていきたいと思えます。